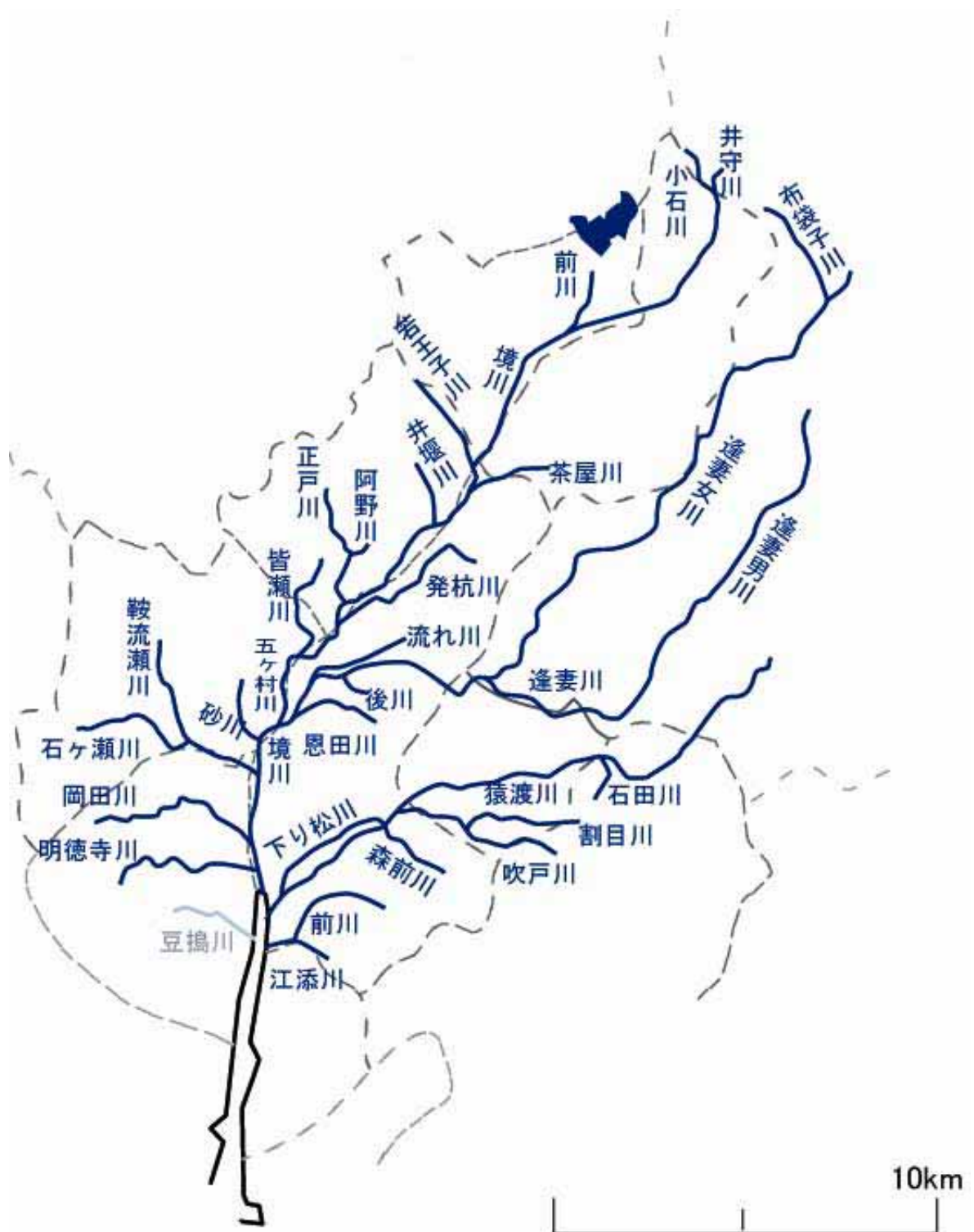


(2) 境川等流域



【境川等】

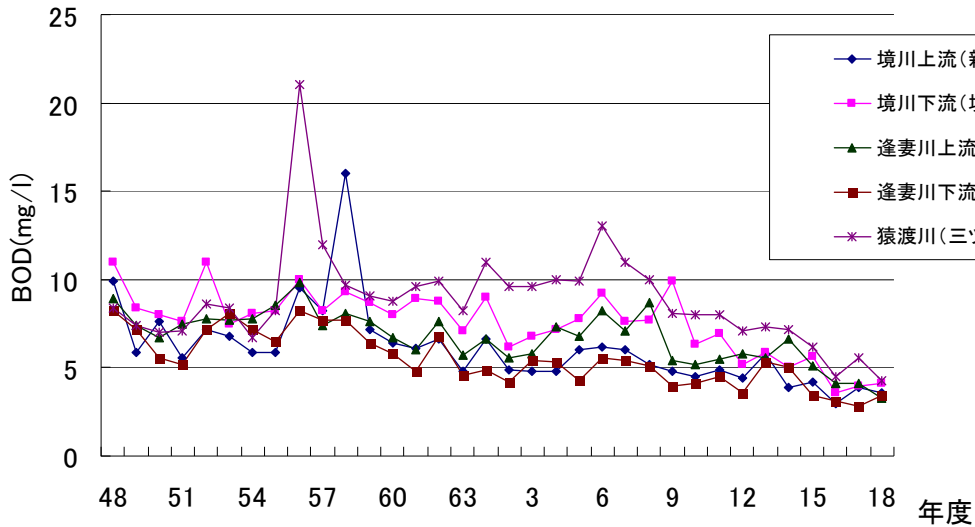
流域の概要

境川	河川延長	2.4 km
	流域面積	22.1 km ²
逢妻川	河川延長	1.1 km
	流域面積	8.6 km ²
猿渡川	河川延長	1.8 km
	流域面積	4.7 km ²

水質環境基準

水域	類型	pH	BOD	SS	DO
境川上流	B	6.5-8.5	3mg/l以下	25mg/l以下	5mg/l以上
境川下流	C	6.5-8.5	5mg/l以下	50mg/l以下	5mg/l以上
逢妻川上流・下流、猿渡川	D	6.0-8.5	8mg/l以下	100mg/l以下	2mg/l以上

BOD 年間平均値の推移



境川、猿渡川河口

流域情報

- 上流域は丘陵地、中・下流域は低平地を流れ、その関係市町は9市3町となっている。
- 流域は市街地面積率が5割強と市街化が進んでいる。
- ため池が昭和58年の326ヶ所から平成16年の263ヶ所と約2割が消失している。
- 河口部周辺の水際は生物の生息・生育場所となるヨシ原等が広がっている。



河口部周辺では、大規模なヨシ群落広がる。

オナガガモ、キンクロハジロ等の冬鳥が休息している様子。

生物の生息状況

- 植物：ヨシ、ススキ、フジバカマ など
- 魚類：オイカワ、メダカ、カマツカ、モツゴ、ギンブナ など
- 鳥類：チュウサギ、オナガガモ、キンクロハジロ、イカルチドリ など

【境川等】

流域での取組

境川と逢妻川の河川緑地を始め、県と市町とが連携した公園整備等が行われており、これらについて草刈りなどの維持管理を市町が実施

河川愛護団体、自治会等により河川清掃を中心とした活動を展開

特徴と課題

- 流域の市街化が進んでおり、特に上流2市2町（大府市、豊明市、東郷町、三好町）は生活系の汚濁負荷量の割合が7割を超え、生活排水対策重点地域に指定されており、環境基準も達成されていないことから、下水道や浄化槽の整備といった生活排水対策の推進が必要となっている。
- 流域には多くのため池が見られるが、市街化の進捗とともに徐々に消失している。ため池は農業用水の水源としてだけでなく治水始め地下水かん養や生態系の維持など多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。
- 流域の市街化により保水・遊水機能が低下しており、総合治水対策として、雨水貯留浸透施設の設置などが必要である。
- 河川周辺の水辺は生物の貴重な生息・生育域となっており、水辺に親しむ場所でもあるので、自然環境の保全・再生が必要である。

流域別目標

☆多様な動植物が見られる河川環境

☆保水・かん養や生物の住処をもたらすため池の回廊


<上流>

- 魚の姿がたくさん見える。
- 水に入って遊びたい水辺
- 濁りや色が気にならない。

<中・下流>

- ヨシなど河畔の植物が多く、在来種が多い。
- 眺めたり散歩したい水辺。
- 濁りや色が気にならない。

森づくりの取組

取組	水源涵養林育成事業	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	愛知用水の受益市町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>平成3年愛知用水通水30周年を期に、愛知用水サミット宣言の趣旨に基づき、「受益市町連絡会議」が設置された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 植樹祭（ヒノキの苗木を300本／年植樹） 実施場所 牧尾ダム周辺 実施時期 毎年5月下旬頃 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 植樹祭は受益市町、水源村である王滝村、木曾町、木曾森林組合、愛知県、水資源機構、愛知用水土地改良区が参加する。 愛知用水土地改良区は、植樹場所の選定、植樹後の管理（下草刈、枝打ち、食害防除）を行っている。 			
		<p style="text-align: center;"><u>愛知用水サミット宣言</u></p> <p>私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を確認し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。</p> <p>一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後生に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めるものとする。</p> <p>二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただいていた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に奇与するものとする。</p> <p>三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行うものとする。</p>	

郷づくりの取組

取組	湿地の保全	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	小堤西池のカキツバタを守る会、調査委員、ボランティア、刈谷市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 国の天然記念物に指定されている小堤西池のカキツバタ群落の保全を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 カキツバタ群落保全のため、池内において除草作業を年1回実施。 群落保全のためには、水の確保は大変重要である。池内における湧水量も減少傾向にあり、現在環境省の「湧水・復活保全活動支援の推進調査モデル地域」にも応募するなど「水」を確保する活動を実施している。 ・ 実施場所 小堤西池（刈谷市） <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査委員に各種調査を依頼するとともに、小堤西池のカキツバタを守る会、ボランティアの協力を得て、除草作業を実施。 ・ 今後のカキツバタ群落の適正な保存、管理及び活用に関する保存管理計画を策定するため小堤西池カキツバタ群落保存管理計画を現在策定中。 		
		
取組	ため池の保全	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	蜻蛉の会	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 夏にはアオコが発生して異臭などを発していた。そこで、平成4年に市民の有志により自分たちの手でため池の水質浄化活動を開始した。池に再びトンボが乱舞してほしいので「蜻蛉の会」が結成された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施場所 新池（大府市） ・ 実施内容 ため池付近の清掃活動など（毎月第2日曜日の午前中に実施） トンボの生簀にホテイアオイを移植（5月～11月に実施） ため池に水車を設置、ビオトープ、緑化活動 <p>3 取組の連携・協働 「蜻蛉の会」が毎月3回ミーティング及び現地活動を実施</p>		

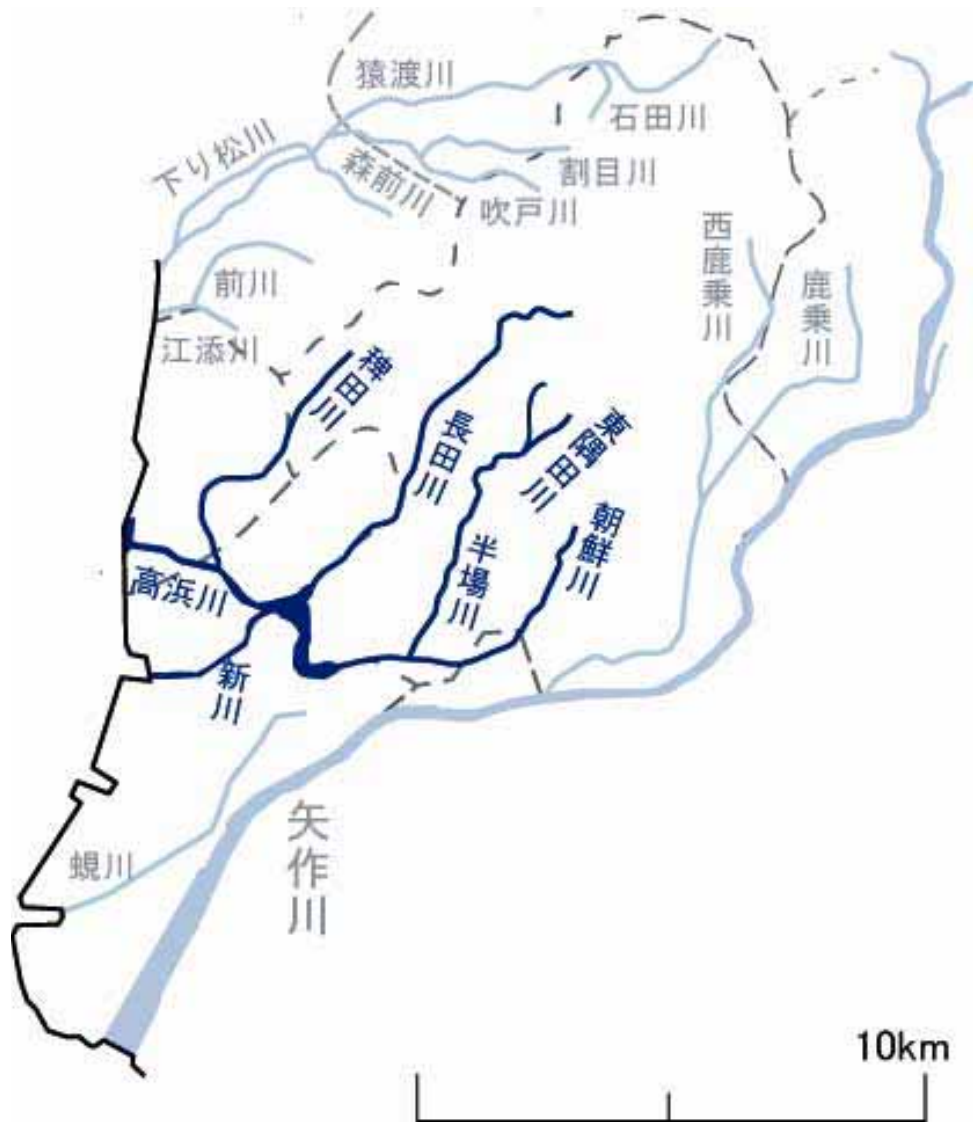
まちづくりの取組

取組	合流式下水道の改善	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	刈谷市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 雨天時に雨水と汚水が混合した未処理水が河川や海域に放流されることによる水質の悪化等が懸念されるため、改善を行い、公共用水域の水質保全を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 合流区域 320ha における汚濁負荷量の削減及び夾雑物流出の防止をするために、刈谷市内 15ヶ所の雨水吐室にろ過スクリーンの設置、堰高改善及び貯留施設の設置等を計画。 ・ 実施期間 平成 18 年～平成 27 年度 		
取組	総合治水対策の推進	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	民間開発者、流域市町、愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 境川流域等において流域整備計画を策定し総合治水対策を推進</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 都市化の進展に伴う雨水浸透施設等の流出抑制対策施設の設置推進 親子フォーラムの開催等による普及啓発・情報発信 ・ 実施場所 境川・猿渡川流域 		
取組	自然を生かした水辺空間の整備	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	大府市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 自然を生かした水辺空間を整備し、その施設を利用して自然観察活動等を行うことにより、都市環境を保全する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施場所 ニツ池公園（大府市） ・ 実施内容 ニツ池公園 平戸池（自然生態園）の整備（H17～18） ウォーキングトレイル事業の整備（H16～20） <p>3 取組の連携・協働 WHO健康都市連合関連事業と連携して、都市の健康（＝緑化の推進）とともに人の健康の増進を図る。</p>		

里川・里海づくりの取組

取組	海域の浚渫	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 水域環境の改善を図るとともに、悪臭等の公害防止を図るため、海底に堆積している有機汚泥を浚渫する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など <海域浄化対策事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 海域に堆積した有機汚泥の浚渫 ・ 実施場所 衣浦湾北部海岸（刈谷市、高浜市） 		
取組	明德寺川の清掃活動	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	明德寺川の自然を守る会	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 川の環境や景観等を良好な状態に保つため清掃活動等の実施</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 河川の両岸また川の上流下流周辺の清掃を随時実施 彼岸花の植栽、除草、橋上花壇の手入れ及び、会員による水質検査の実施 ・ 実施場所 明德寺川（東浦町） <p>3 取組の連携・協働 明德寺川の自然を守る会を町が支援している。</p>		
取組	水生生物調査	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	県民、市町、愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水生生物調査 ・ 実施場所 〔平成19年度調査結果〕 境川、茶屋川、逢妻男川、逢妻川、恩田川、猿渡川、割目川、上倉用悪水、明德寺川（9河川、23地点） <p>3 取組の連携・協働 小中学生、地元住民グループ、市町、愛知県</p>		

(3) 油ヶ淵等



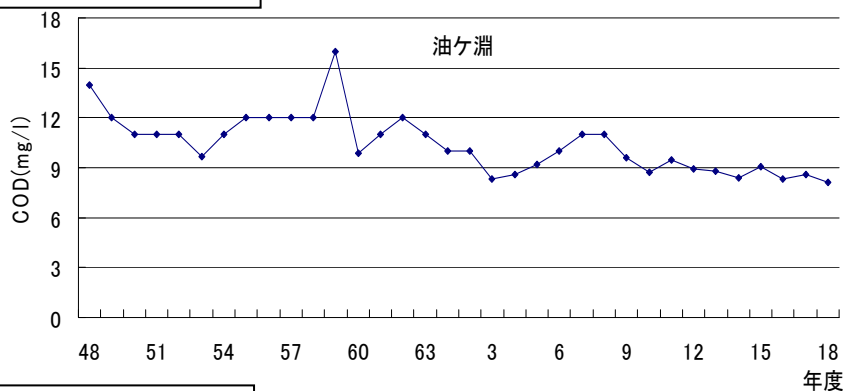
【油ヶ淵等】

流域の概要

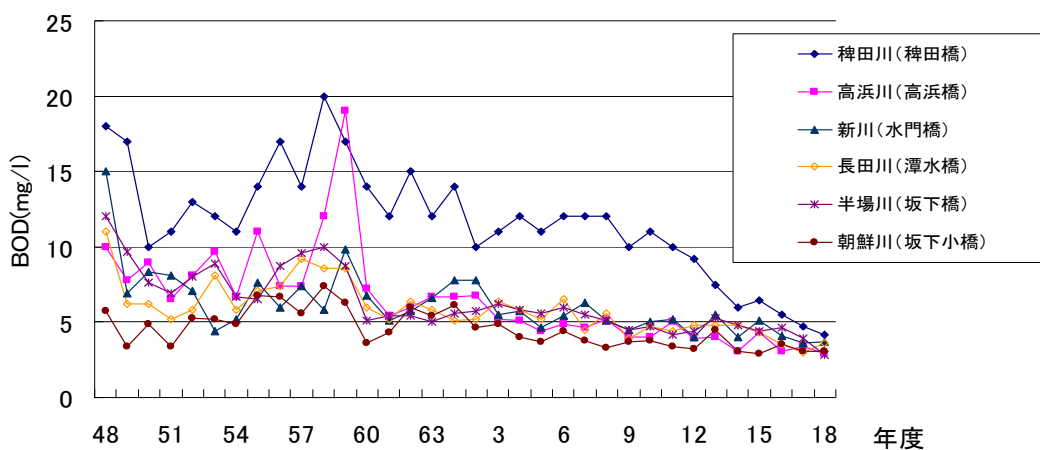
油ヶ淵の面積 0.64 km²
流域面積 5.8 km²

水質環境基準					
水域	類型	pH	COD	SS	DO
油ヶ淵	B	6.5-8.5	5mg/l 以下	15mg/l 以下	5mg/l 以上
稗田川、高浜川、 新川、長田川、 半場川、朝鮮川	類型	pH	BOD	SS	DO
	C	6.5-8.5	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上

COD年間平均値の推移



BOD年間平均値の推移



流域情報

- 油ヶ淵は平均水深3mの汽水湖で県内唯一の天然湖沼である。
- 流域の土地利用は北部では都市化が進んでいるが、南部は農地特に水田としての利用が多い。
- 油ヶ淵の水質は環境基準を上回っており、全国的にも水質の悪い湖沼となっており、現在、第二期水環境改善緊急行動計画が進められている。
- 平成17年に県営都市公園として都市計画決定され、整備が進んでいる。

生物の生息状況等

植物：ヨシ、ススキ、セイタカアワダチソウ など
魚類：タイリクバラタナゴ、カダヤシ*、オオクチバス* など
その他：フジツボ類（油ヶ淵沿岸付近） など

*：特定外来生物。もともとその地域にいなかったのに、人間活動によって海外から入ってきた生物（外来生物）のうち、外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）で、生態系、人の生命・身体、農林水産業に悪影響を与えるおそれのあるものを「特定外来生物」として指定し、飼養・栽培・保管・運搬・販売・輸入などを規制するとともに、防除を進めることで被害の防止を図っていくこととしている。

【油ヶ淵等】

流域での取組

県と流域4市とで、平成6年度に水環境改善緊急行動計画を策定し、現在は、平成22年度を目標とした第二期計画（清流ルネッサンスⅡ）を策定し、行政、市民が一体となった水環境改善に取り組んでいる。

特徴と課題

- 流域の汚濁負荷量の約7割は生活系であり、生活排水対策を進める必要がある。
- 清流ルネッサンスⅡに基づき、生活排水対策の外、流入河川での礫間接触ばっきによる直接浄化や覆砂、畜産排水対策、環境保全型農業など、総合的な対策が進められている。
- 市民参加による流域100ヶ所の年間を通じた水質検査が行われ、その結果を事業者指導に活かしているなど、市民、行政の連携が進んでいる。
- 油ヶ淵の流入河川は、自流水が少ないことから農業用水の影響を受け、非灌漑期には河川湖沼での汚濁が見られることから、地下水のかん養機能の回復も必要である。

流域別目標

- ☆湖畔の散歩道において不快に感じなく、水辺で湖底が見られる。
- ☆湖内全域で魚が生息できる。
- ☆川の辺りを眺めたり散歩が楽しい。

<湖内>

- 魚、鳥、カエルなど、いろいろな種類の生き物がたくさんいる。
- 透視度30cm以上、透明度1m以上

<流入河川>

- 魚の姿がたくさん見える。
- 臭いや、濁りや色が気にならない。



郷づくりの取組

取組	環境保全型農業の推進	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持 水辺の保全
実施主体	愛知県		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 油ヶ淵の水質汚濁改善のため、目標を定め（平成22年度）、環境保全型農業を推進する。水田においては、肥効調節型肥料及び側条施肥、畑においては肥効調節型肥料の普及を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 施肥対策（側条施肥、緩効性肥料の利用） 代かき対策（不耕起直播栽培、凝集沈殿） 目標を定めて実施している。 ・ 実施場所 油ヶ淵流域 <p>3 取組の連携・協働 油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）の一環として実施</p>			

まちづくりの取組

取組	調整池の整備	登録年度	平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	安城市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 平成 12 年度の東海豪雨をはじめとする集中豪雨や、市街化の進展による雨水の流出増により、浸水被害が多発し、緊急に浸水対策を施す必要性が生じてきた。流域全体の河川流下能力を解消すべく、計画的に調整池を設置し、浸水被害の軽減を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 調整池の整備 平成 14 年度 大池公園調整池 3,000m³ 平成 16 年から 17 年度 大池調整池 26,700m³ 実施場所 長田川流域（安城市） <p>3 取組の連携・協働 河川沿いの公共施設と調整をとり地下貯留調整池を築造する。</p>			
取組	生活排水モデル地区事業	登録年度	平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	地域住民、安城市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 愛知県内唯一の天然湖である「油ヶ淵」は、都市化の進展や閉鎖性水域のため、全国的に見ても毎年ワースト 10 位以内に入る水質の汚濁した湖沼となっている。 この汚濁原因は、家庭から流される生活排水が大半を占めることから、油ヶ淵の水質浄化対策の一環として行っている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 毎年、油ヶ淵流域の 1 町内会を生活排水モデル地区と指定し、生活排水に関する学習会及び水質浄化実施啓発用品を配布し、7 月に実践活動を中心とした生活排水対策を実施する。 アンケート調査及び生活排水路における水質分析をそれぞれ 2 回行い、実践活動の効果を確認。 実施場所 油ヶ淵流域の町内会 <p>3 取組の連携・協働 油ヶ淵水質浄化促進協議会にて、油ヶ淵浄化デーやアクション油ヶ淵の実施。</p>			
取組	油ヶ淵水質浄化イベントの実施	登録年度	平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	地域住民、油ヶ淵水質浄化促進協議会		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 油ヶ淵に流入する汚濁物質の約 8 割を生活排水が占めており水質汚濁の大きな原因になっていることから、水質浄化への取組の発表や、講演などを行い、地域住民の方々の水質浄化への意識の高揚を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施内容 アクション油ヶ淵の開催（油ヶ淵の水質浄化に関する活動事例発表、講演、パネル展示等） 実施場所 油ヶ淵流域 4 市（碧南市、安城市、西尾市、高浜市）のうちの 1 市で毎年開催 <p>3 取組の連携・協働 油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）の一環として実施</p>			

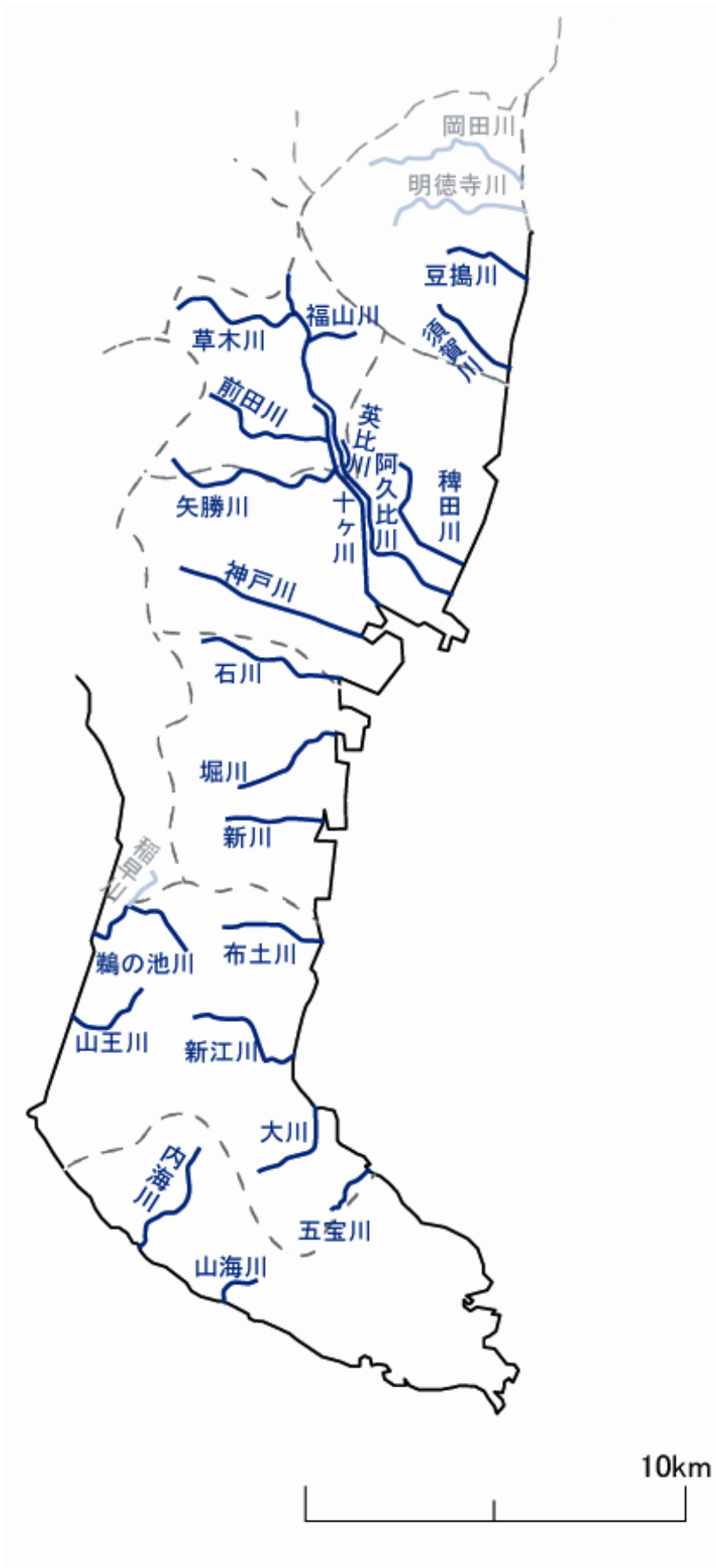


里川・里海づくりの取組

取組	油ヶ淵の浄化対策	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	安城市、愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 油ヶ淵の水質汚濁の改善のため、各種浄化対策を実施する。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 直接浄化施設の運転・管理 油ヶ淵への流入河川において、直接浄化施設による河川水質の改善を行う。 実施場所 長田川、稗田川、半場川（愛知県） 切間川（安城市、愛知県） (2) 植生浄化、河道の多自然化の実施 河川の多自然化や湖沼への植物の植栽により植物の生育による水質改善を行う。 実施場所 油ヶ淵、稗田川、半場川（愛知県） (3) 油ヶ淵湖内の浚渫・覆砂 油ヶ淵の底泥からの栄養塩類の溶出を防ぐため浚渫や覆砂を行う。 実施場所 油ヶ淵（愛知県） <p>3 取組の連携・協働 油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）の一環として実施</p>		
		
取組	油ヶ淵水辺公園の整備	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 「油ヶ淵の自然と歴史 未来へつなぐ水辺風景の創造」を基本テーマに、油ヶ淵に関する県民の関心を深めるとともに、水と人との係わりについて学び、水質等の情報提供や水質浄化の活動拠点づくりを行なう事を、基本方針の1つとして整備を進めている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 天然湖沼で、広々とした水面をもつ油ヶ淵の特徴を生かし、周辺区域を含めて公園として整備する。 ・ 実施場所 油ヶ淵周辺 <p>3 取組の連携・協働 公園の設計を、市民参加によるワークショップにより進めている。</p>		
取組	港湾環境整備事業	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 港湾関係者、地域住民が利用可能な休息緑地、レクリエーション緑地、シンボル緑地等を整備し、周辺施設との連携、地域の文化と密着した緑地として、周辺地域の港湾環境の改善を図る。 ・ 実施場所 高浜地区 ・ 実施時期 平成 8 年度～平成 23 年度（予定） 		

取組	油ヶ淵周辺の清掃活動	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	地域住民、碧南市		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>平成4年5月1日に開催された油ヶ淵水質浄化懇談会（県知事と油ヶ淵流域4市の市長）の席上で7月第4日曜日を「油ヶ淵浄化デー」と定め、4市が啓発活動を実施することを決定した。そして毎年それぞれの市において清掃する場所を決め、油ヶ淵流域の清掃活動を行なっている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 清掃活動 ・ 実施場所 油ヶ淵周辺 ・ 実施時期 原則的に毎年7月第4日曜日 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>毎年、油ヶ淵の近くに住んでいる西端地区、荒子地区の住民に協力を得ている。また、企業からも協力を得ている。</p>			
			
取組	水生生物調査	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	県民、市、愛知県		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水生生物調査 ・ 実施場所 [平成19年度調査結果] 稗田川、鮫川、長田川、半場川（4河川、4地点） <p>3 取組の連携・協働</p> <p>小中学生、地元住民グループ、市、愛知県</p>			
取組	油ヶ淵流域水環境モニタリング	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	地域住民、油ヶ淵水質浄化促進協議会		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）に基づく各種対策が油ヶ淵や河川など、流域の水環境にどう反映しているかを把握するために、また、地域住民に水環境の現状を把握してもらうために油ヶ淵流域水環境モニタリングを実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水質モニタリング：県及び市による水質調査 流域内の32地点 市民モニタリング 流域内の70地点 生物モニタリング：底生生物調査、水生生物調査、 植物プランクトン調査 底質モニタリング：堆積圧調査 <p>3 取組の連携・協働</p> <p>油ヶ淵第二期水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンスⅡ）の一環として実施</p>			
			

(4) 三河湾沿岸域 (知多半島等)



アクションシート(4)-1

【三河湾沿岸域(知多半島等)】

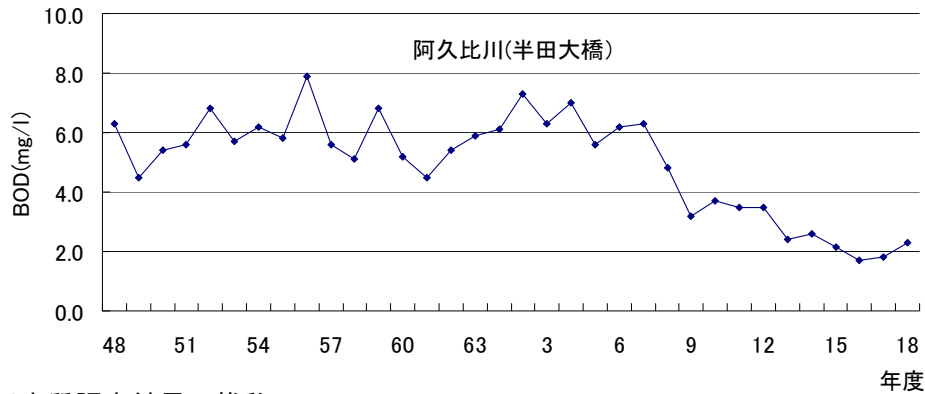
流域の概要

阿久比川
 河川延長 10.0km
 流域面積 31.0km²

水質環境基準

水域	類型	pH	BOD	SS	DO
阿久比川	C	6.5-8.5	5mg/l 以下	50mg/l 以下	5mg/l 以上

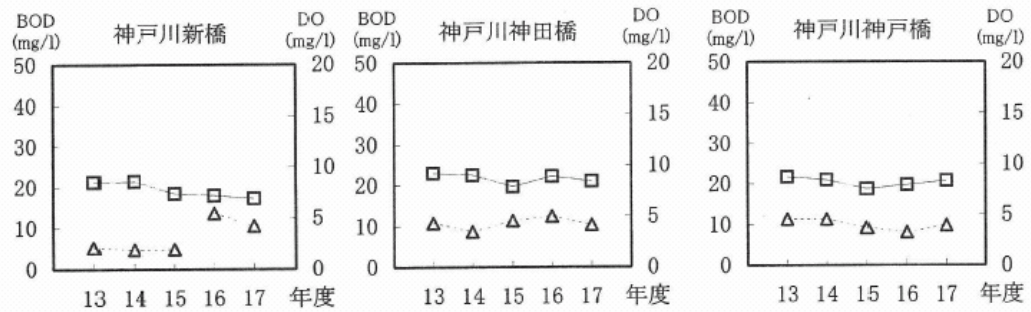
BOD 年間平均値の推移



神戸川水質調査結果の推移

(出典:平成18年版 半田市の環境)

△ BOD □ DO



流域情報

- 標高30m程度の丘陵地帯が広がり、大きな河川がないことから多くのため池が造られてきたが、慢性的に農業用水が不足していた。
- 愛知用水の通水(昭和36年)後は、水道用水、農業用水とも多くを木曾川水系からの取水に依存している。
- 河川延長が短く、瀬や淵も少ないことから、単調な河川環境となっている。



阿久比川下流 知多建設事務所資料

生物の生息状況等

- 植物: ヨシ、クサヨシ、カワヂシャ など
- ほ乳類: イタチ など
- 鳥類: カワウ、サギ類、イカルチドリ など
- は虫類: イシガメ、ニホントカゲ など
- 両生類: トノサマガエル など
- 魚類: ギンブナ、モツゴ、フナ、ヨシノボリ、ドジョウ、メダカ など

【三河湾沿岸域(知多半島等)】

流域での取組

神戸川は、小中学校の学習活動の場として利用されているほか、地域住民による清掃活動も実施されている。

三河湾沿岸市町では、三河湾浄化推進協議会(事務局:豊橋市)の活動として、三河湾浄化のための啓発活動を実施している。

特徴と課題

- 河川延長が短く、河川形状や流れの状況から単調な河川環境が見られることから、自然に恵まれ、うるおいを感じるができる川づくりが必要となっている。
- 流域に多く存在するため池は、農業用水の水源としてだけでなく治水始め地下水かん養や生態系の維持など多面的な機能も持つことから、その保全を図ることが必要である。
- 生活排水対策とともに、農地・畜産の環境保全対策も重要となっている。

流域別目標

- ☆水辺を散歩したい川
- ☆生き物をはぐくむため池を守る

- 水辺の緑が豊かで、魚が見られる川
- 利水・治水を始め多面的機能を有するため池の保全




知多建設事務所資料



申ヶ池(東浦町) 知多農林水産事務所資料

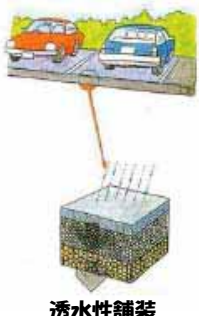
森づくりの取組

取組	水源涵養林育成事業	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	愛知用水の受益市町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性</p> <p>平成3年愛知用水通水30周年を期に、愛知用水サミット宣言の趣旨に基づき、「受益市町連絡会議」が設置された。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 植樹祭（ヒノキの苗木を300本／年植樹） ・ 実施場所 牧尾ダム周辺 ・ 実施時期 毎年5月下旬頃 <p>3 取組の連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 植樹祭は受益市町、水源村である王滝村、木曾町、木曾森林組合、愛知県、水資源機構、愛知用水土地改良区が参加する。 ・ 愛知用水土地改良区は、植樹場所の選定、植樹後の管理（下草刈、枝打ち、食害防除）を行っている。 			
		<p style="text-align: center;"><u>愛知用水サミット宣言</u></p> <p>私たちは、愛知用水の水源村と受益市町といった立場の違いを越え、21世紀に向けて、限りある貴重な水の確保とこれからの愛知用水のあるべき姿について、今後引き続き、対話と協調の道を歩む必要性を確認し、この愛知用水サミットにおいて、次のとおり宣言する。</p> <p>一 私たちは、愛知用水のいのちの水がめである牧尾ダムの美しい姿を後生に残すため、牧尾ダム周辺の景観整備とダムを潤す水源涵養林の保護、育成に努めるものとする。</p> <p>二 受益市町は牧尾ダムの建設と管理に協力いただいていた、王滝・三岳両村の方々に感謝し、人と人との交流の拡大等を通じて、両村の一層の発展に奇与するものとする。</p> <p>三 受益市町は、水の有効利用や水質の保全に努めるとともに、住民に対して、これら水に関する広報、啓蒙活動をより一層活発に行うものとする。</p>	

郷づくりの取組

取組	湿地の保全	登録年度	平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全		
実施主体	阿久比町		
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 知多半島でも大変貴重な自然環境が残り、湿地特有の生物（ハッチョウトンボ等）や植物（絶滅危惧種Ⅱ類シラタマホシクサ等）が生息・生育する場所である板山高根湿地の保全・整備を行う。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施場所 板山高根湿地（阿久比町） ・ 概要 自然分野に関心を有する学識経験者6名をもって組織する『自然観察検討委員会』を設置。（平成15年度～） 板山高根湿地自然環境基本調査を実施。（平成13年度・14年度） 外部侵入者防止用のフェンスを設置。（平成15年度） 板山高根湿地自然観察会の実施。日時・人数限定の観察会（平成17年度～） 簡易木道（観察路）の設置（平成19年度予定） 湿地保全のPRとして写真等パネル展示（平成17年度～、平成19年度は町立図書館予定） <p>3 取組の連携・協働 地域住民の方より板山高根湿地自然環境ボランティアを募集し、養成講座受講後、簡易な保全活動を予定。（平成19年度）</p>			

まちづくりの取組

取組	まちづくりの取組			登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化	水量の確保	生態系の維持	水辺の保全
実施主体	県民、事業者、民間団体、市町村、国、県			
<p><取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道の高度処理導入 ○ 総量規制など産業排水対策 ○ 雨水の貯留・浸透施設の整備 ○ 透水性舗装の推進 ○ 水資源の効率的利用・節水 ○ ビオトープの整備 				
			 <p>浸透せず</p>	 <p>透水性舗装</p>

里川・里海づくりの取組

取組	港湾環境整備事業	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 緑地の整備を行い、憩いの場の創出を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 港湾関係者、地域住民が利用可能な休息緑地、レクリエーション緑地、シンボル緑地等を整備し、周辺施設との連携、地域の文化と密着した緑地として、周辺地域の港湾環境の改善を図る。 ・ 実施場所 東浦地区 ・ 実施時期 平成3年度～平成23年度（予定） 		
		
取組	矢勝川の河川清掃等	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	矢勝川の環境を守る会	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 新美南吉の童話「ごんぎつね」の舞台となった矢勝川の堤防にクズヤススキが生い茂り、地域住民も近寄らなくなっていたため、平成2年から草を刈り、彼岸花を植える活動を始めた。現在では、東西1.5キロメートルにわたり、100万本以上の彼岸花が咲くようになった。この彼岸花の育成を図り、美観を保つために、年4回、矢勝川堤防の草刈を行っている。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 矢勝川右岸（半田市側）の堤防と河川敷において、年に4回（彼岸花後の10月、1～2月、5月、8月末～9月初め）草刈を行い、彼岸花の少なくなってきた部分には補植を行う。 矢勝川周辺の休耕地を借り、菜の花、ポピー、コスモスなど四季折々の花を育てている。 ・ 実施場所 矢勝川 <p>3 取組の連携・協働 毎年、岩滑区民、岩滑北保育園の園児、岩滑小学校の児童などが参加して、共同で作業を行っており、地域住民や子どもたちにとっては、矢勝川という身近な水辺に接し、環境について考えるよい機会となっている。</p>		
取組	海浜の清掃活動	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 沿岸漁場の効用を高めるとともに、漁場環境の保全を図る。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など <漁場クリーンアップ事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 海浜の廃棄物の回収 ・ 実施場所 沿岸市町 <p>3 取組の連携・協働 漁業者等による清掃活動の推進</p>		
取組	平地川のごみ調査等	登録年度 平成 19 年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	小中学校、半田市	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 地元小中学校の総合学習において、ゴミ調査、水質調査、海の状態調査を行う。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施場所 平地川、稗田川、神戸川、亀崎港 ・ 実施内容 平地川・稗田川のごみ調査、神戸川の水質調査、神戸川クリーン作戦、亀崎の海の状態調査 		

取組	水生生物調査	登録年度 平成19年度
分類	水質の浄化 水量の確保 生態系の維持 水辺の保全	
実施主体	県民、市町、愛知県	
<p>1 取組の目的、背景及び必要性 身近な水辺への触れ合いを深めるとともに河川の水質浄化に対する意識の高揚を図るため、昭和60年度から夏休みの期間を中心に、県内各地で水生生物調査を実施している。</p> <p>2 実施内容（概要）、実施時期、実施場所など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施内容 水生生物調査 ・ 実施場所 [平成19年度調査結果] 阿久比川、殿越川、福山川、布土川、片名川、百々川、内海川、浜田川（8河川、9地点） <p>3 取組の連携・協働 小中学生、地元住民グループ、市町、愛知県</p>		
		